

日本初、アイ・オー・データが UPOE 対応の液晶ディスプレイを発売開始

シスコと協業し直流電源による省エネ・スマートオフィスを推進

液晶ディスプレイ販売国内最大手である株式会社アイ・オー・データ機器(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:細野 昭雄、以下弊社)は、ネットワーク、コンピュータ機器最大手のシスコシステムズ合同会社(本社:東京都港区、代表執行役社長:平井 康文、以下シスコ)と低炭素社会の実現に向けて協業し、世界中で大きな注目を集めているイーサネットから電源供給が可能な、シスコ提唱規格「UPOE(Universal Power Over Ethernet)」に国内で初めて対応した液晶ディスプレイ「LCD-AD221PEB」を発売開始いたします。12月上旬より全国のシスコの販売パートナーおよび弊社の法人代理店などでの展開を予定しております。

[弊社商品概要]



・次世代 PoE 規格(UPOE)に対応

シスコ社で開発された次世代 PoE 技術「UPOE」に対応し、イーサネットケーブル(コネクタ)を通して受電・動作が可能となります。

PoE 技術は、IEEE802.3af/at として標準化された、イーサネット上で給電を実現する技術です。

・画期的なコンセントレス!

通常の LCD 商品は、コンセントから電源ケーブルを通して受電する仕様となりますが、本商品ではコンセントが不要となり、机周りがスッキリします。通常、オフィスでのレイアウト変更時などは、電源供給のためのコンセントの位置を想定する必要がありますが、本商品であれば、LAN ケーブルでの電力供給により、コンセントの位置を気にせずレイアウト変更できます。

・大幅な節電効果

旧モデルの液晶ディスプレイ(弊社モデル)と比較して、通常利用時で約 50%、省電力化しました。また、コンセントから引き込む 100V の交流(AC)から直流(DC)に変換する際に装置内で生じる変換ロスを除く事で、電力利用効率を最大化します。更に、夜間、週末等の未使用時は、イーサネットケーブルからの給電を運用ポリシーに従いリモートから制御する事で 0W にする事で、無駄な待機電力をゼロにします。

取組み詳細(シスコシステムズ合同会社)

<http://www.cisco.com/web/JP/news/pr/2009/027.html>

コメント

シスコシステムズ合同会社 専務執行役員 木下 剛

「シスコシステムズ合同会社は、UPOE に対応した液晶ディスプレイの発表、及び、日本で初めて UPOE 対応の Cisco Compatible 端末認定を取得された事を心より歓迎致します。シスコとのパートナーシップを通じ、直流電

源システムの利用による省エネ化、災害対策を取り入れた未来志向のスマートオフィスの実現に繋がると期待しております。」

■参考(シスコ社連携商品)



商品型番: WHG-AGDN/US-X

・世界で唯一のシスコ社 CCX 認証取得無線 LAN アダプター

・商品 URL: <http://www.iodata.jp/product/network/adp/whg-agdnus-x/>

[シスコシステムズ合同会社]

設立: 1992年5月

代表執行役員社長: 平井 康文

業務内容: ネットワークシステム、ソリューションの販売ならびにこれらに関するサービスの提供

本社: 東京都港区

URL: <http://www.cisco.com/web/JP/index.html>

本リリースに記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。本リリースで使用のイラストや写真はイメージです。

【本リリースに関するマスコミ問い合わせ窓口】

事業戦略部 販売促進課

担当: 土肥(どひ)・米澤(こめざわ)

TEL: 076-260-3625

【会社概要】

株式会社アイ・オー・データ機器

代表取締役社長: 細野 昭雄

本社: 石川県金沢市

資本金: 35 億 8,807 万円

(東京証券取引所 JASDAQ 上場、コード:  
6916)

ホームページ <http://www.iodata.jp/>